



UNIPRES



ユニプレス株式会社

証券コード:5949

2016年9月30日 専務執行役員 森田 幸彦



UNIPRES CORPORATION



1. 会社概要

2. ユニプレスの強み

3. 中期経営戦略

4. 株主還元



初めまして！ユニプレスです。

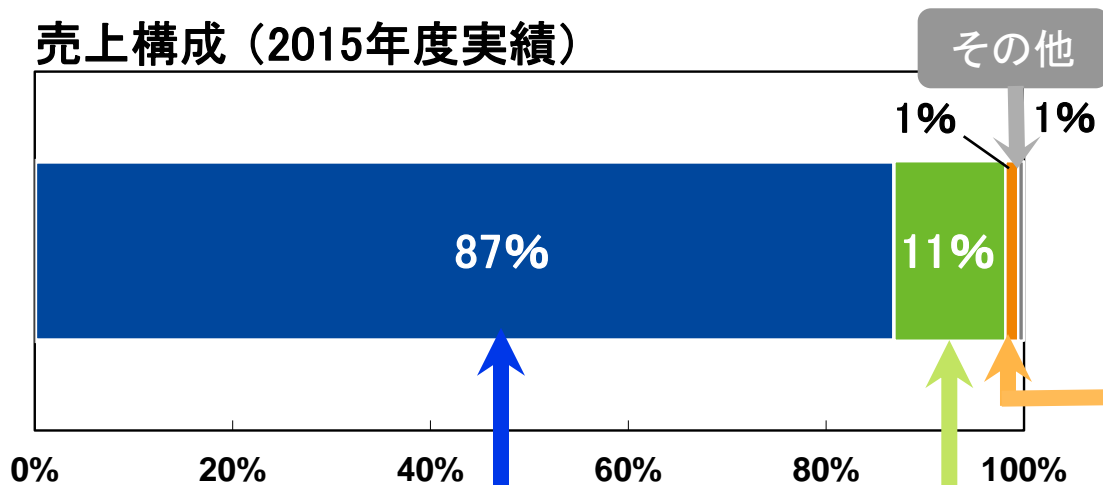
1. 会社概要



当社の製品とは

UNIPRES

売上構成 (2015年度実績)



樹脂プレス製品



車体プレス製品



トランスミッション用製品



- ・車体プレス製品、トランスミッション用製品、樹脂プレス製品を生産
- ・売上構成比は、車体プレス製品が約9割を占める



身近な当社製品

NISSAN

セレナ



エクストレイル



HONDA

フィット



リーフ



スカイライン



GT-R



ステップ
ワゴン

SUBARU

インプレッサ



MAZDA

アテンザ



フリード



SUZUKI

ラパン



アクセラ

DAIHATSU

ミラココア



! Point

国内大手メーカーと取引



業界内の位置づけ

	ヨロズ	東プレ	フタバ産業	ジーテクト	プレス工業	エフテック	エイチワン	ユニプレス
売上高			1位	3位				2位
営業利益		2位		3位				1位
経常利益		2位		3位				1位
当期純利益		1位		3位				2位
資本金			1位		3位			2位
時価総額	3位	1位						2位
株価	1位	2位						3位
従業員数			1位			3位		2位

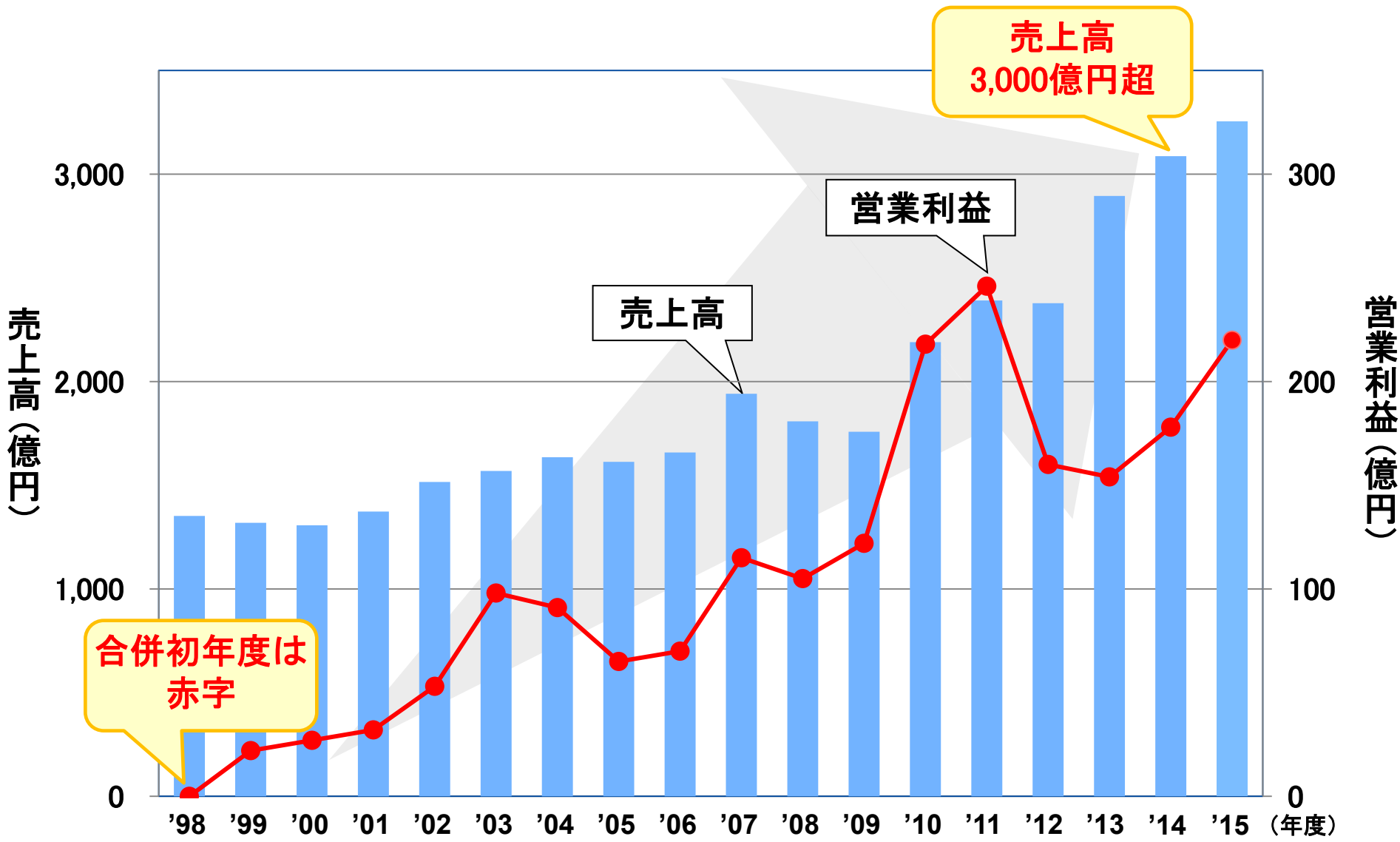
※2016年3月31日現在のデータより



国内最大手！



連結収益の推移





グローバルNo.1を目指す

2. ユニプレスの強み

- 1) 高い技術力
- 2) 拡販
- 3) グローバル展開



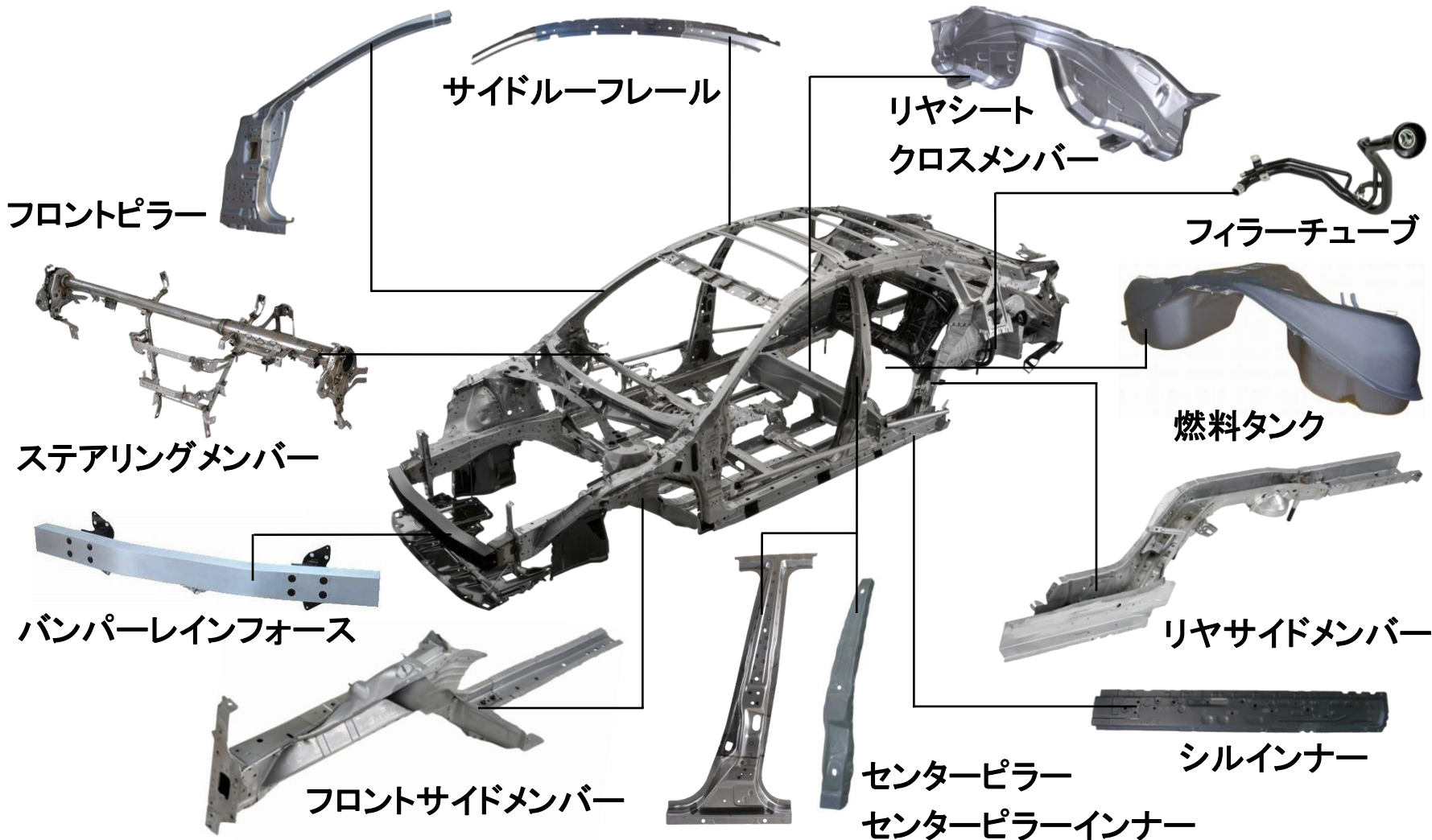
安全性・燃費向上に貢献する

1) 高い技術力



UNIPRES

車体プレス製品



衝突安全性や燃費向上のための軽量化を支える重要な骨格部品等を生産

車体プレス製品の超軽量化技術

ハイテン材(高張力鋼板)

高強度な鋼板

メリット

硬く薄くできる

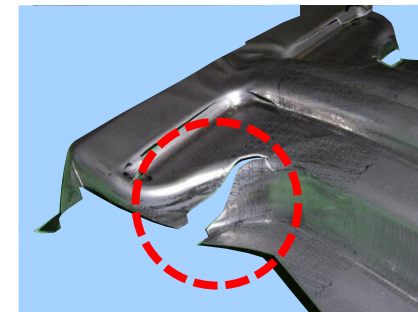
車両の軽量化

燃費向上

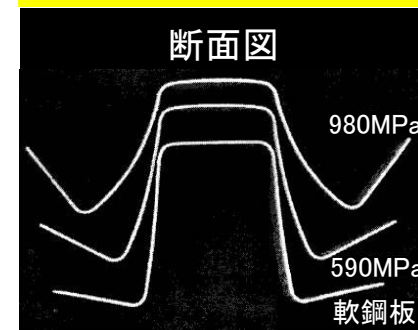
デメリット

成形加工が難しい

高度な技術が必要



割れが発生しやすい



スプリングバック

当社はハイテン材製品の開発～試作～量産が強み

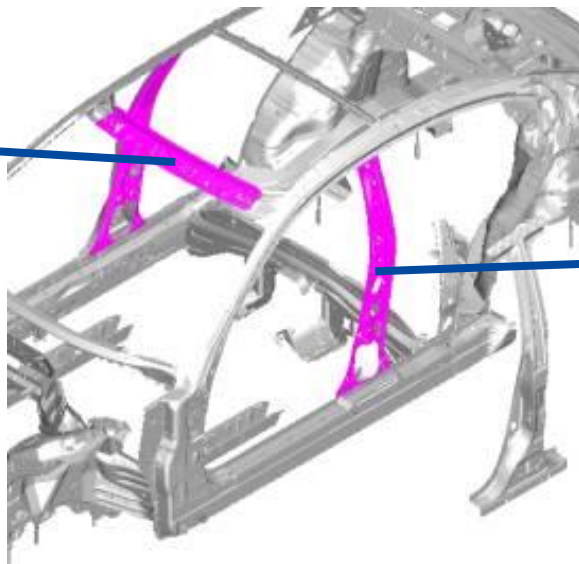
高強度と軽量化の両立を実現




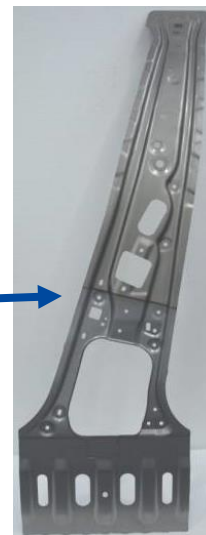
1.2GPa級超ハイテン材成形技術開発



フロントルーフレイル



 : 1.2GPa級超ハイテン材使用
当社受注部品



センターピラーインナー

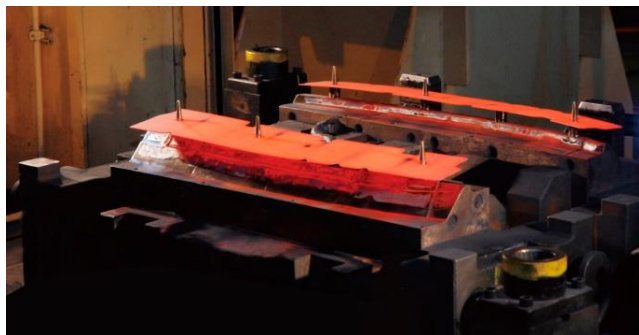
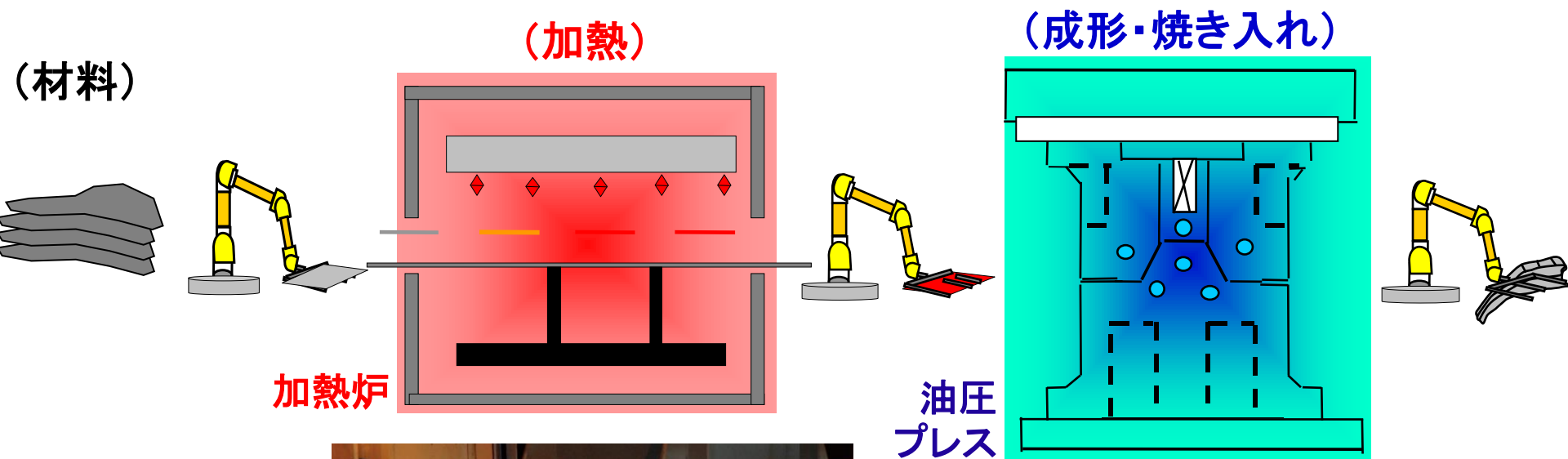
- 当社、日産、新日鐵住金の共同開発で、1.2GPa(1180MPa)材部品の量産化に成功
- 適用車種は「スカイライン」および「Infiniti Q50」
- 部位はセンターピラーインナーおよびフロントルーフレイル
- 特にセンターピラーインナーは、1.2GPa(1180MPa)材を含む“テーラードブランク工法”を採用した部品(世界初)



ホットスタンプ部品の技術開発

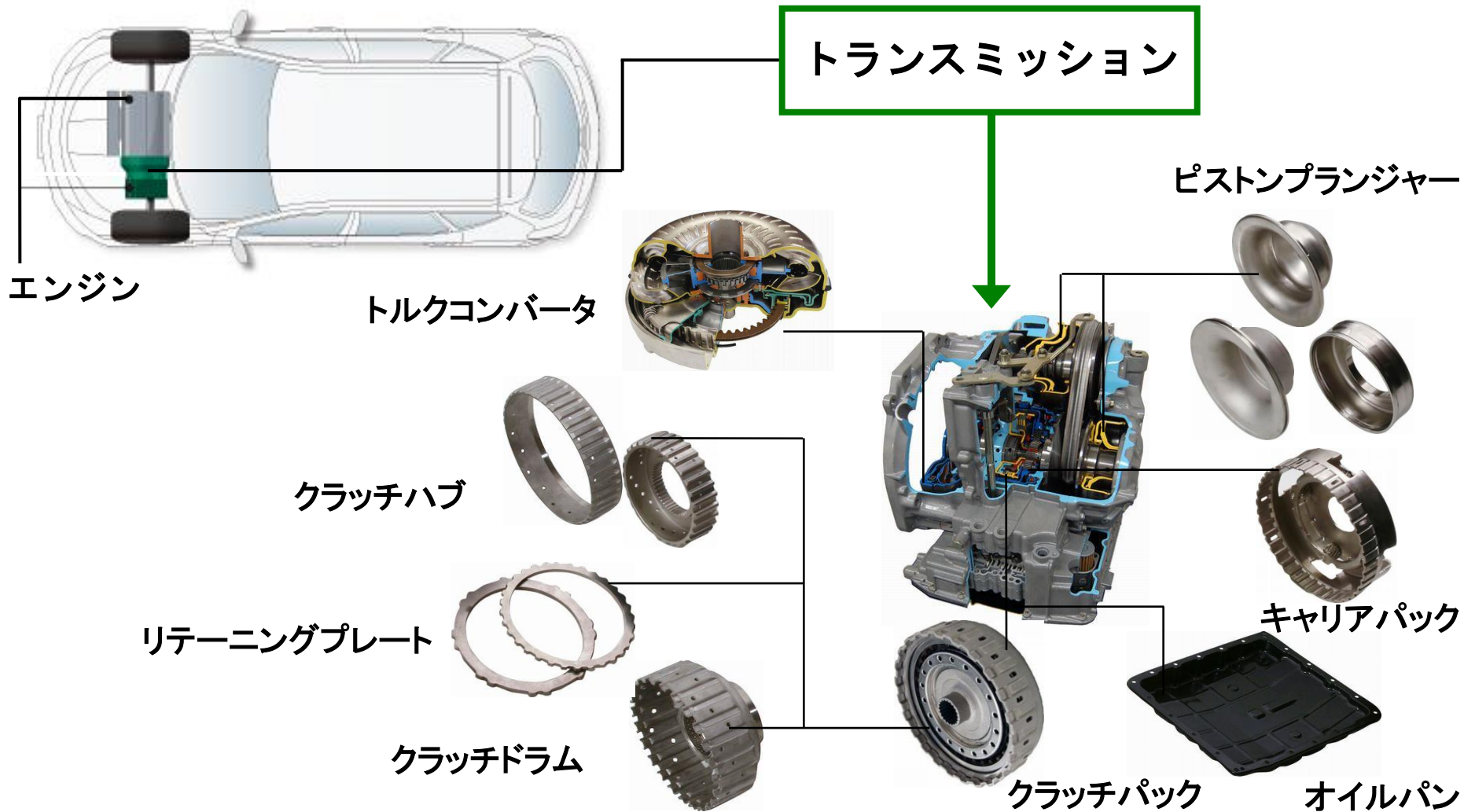
ホットスタンプ工法

鋼板を加熱し、プレス成形と同時に急速冷却することで
焼き入れを行い、1350MPa以上の高強度製品の加工を実現





トランスミッション用製品



精密さと強度を求められるトランスミッション用部品を生産

従来工法

熱間鍛造
+
歯形機械加工



ユニプレス
工法

プレス加工



生産性向上と材料費の削減により大幅なコスト低減を実現



世界一軽量な自社開発トルクコンバーター

クラス(1.6L)世界一の軽量・小型・低燃費 トルクコンバーターを開発

ユニプレス完全オリジナル設計のトルクコンバーター
を初受注し、中国で2015年8月生産開始

トルクコンバーターとは・・・オートマチックトランスミッションに
搭載される変速機で重要な基幹部品



自社開発トルクコンバーター



搭載トランスミッション
「Jatco CVT7 W/R」

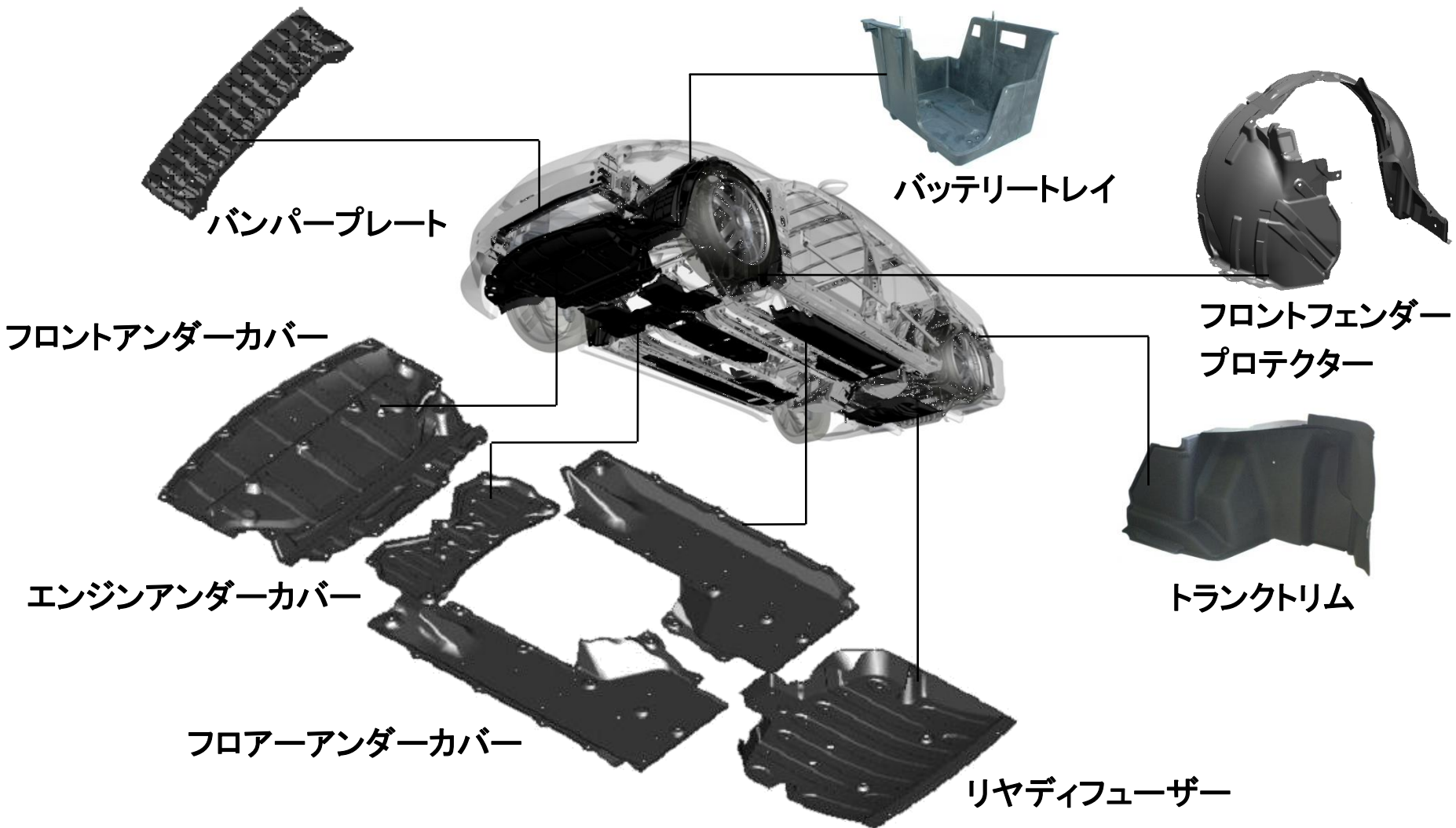


搭載車種「日産 LANNIA」

- ・ 高スペックの当社オリジナル設計トルクコンバーター開発により、拡販につなげる



樹脂プレス製品



世界特許の独自のプレス工法で軽量、低コストな樹脂部品を生産



樹脂プレス技術

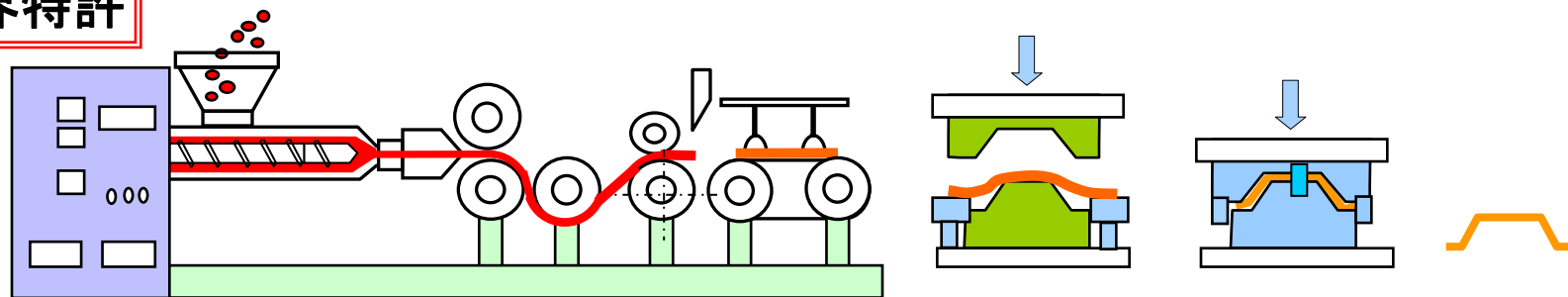
樹脂プレス工法・・・樹脂成形加工に新たな技術領域を切り開いた、当社独自のプレス工法

樹脂プレス工法の一例

USS工法

・・・材料をシート状に伸ばし、連続してプレス成形

世界特許

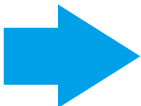


<特長>

低圧成形

高速成形

薄肉成形



コスト競争力



フロントフェンダープロテクター

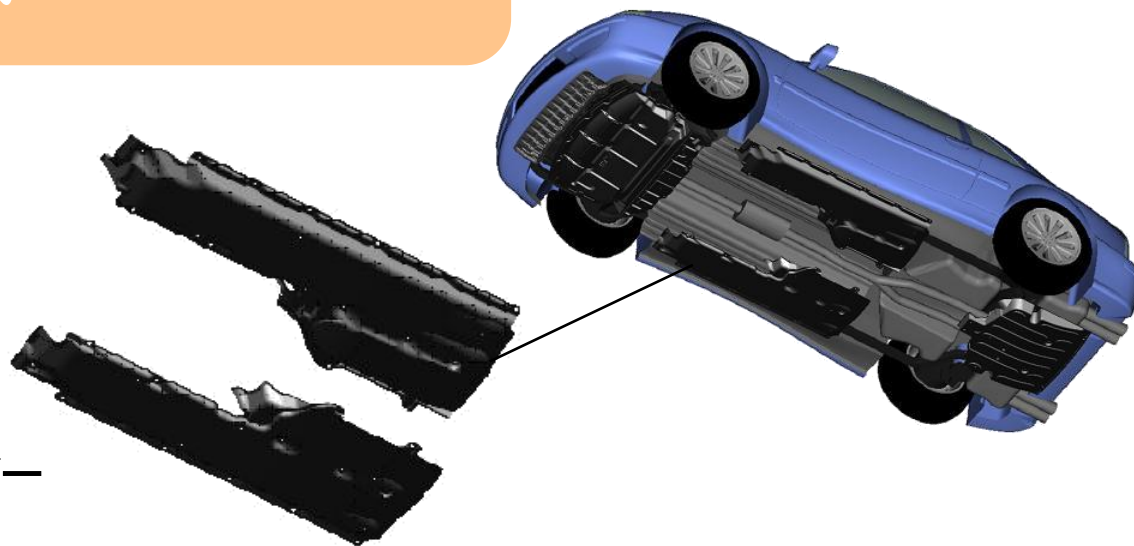
・樹脂プレス技術により、インジェクション工法に比べ、生産性向上およびコスト低減を実現

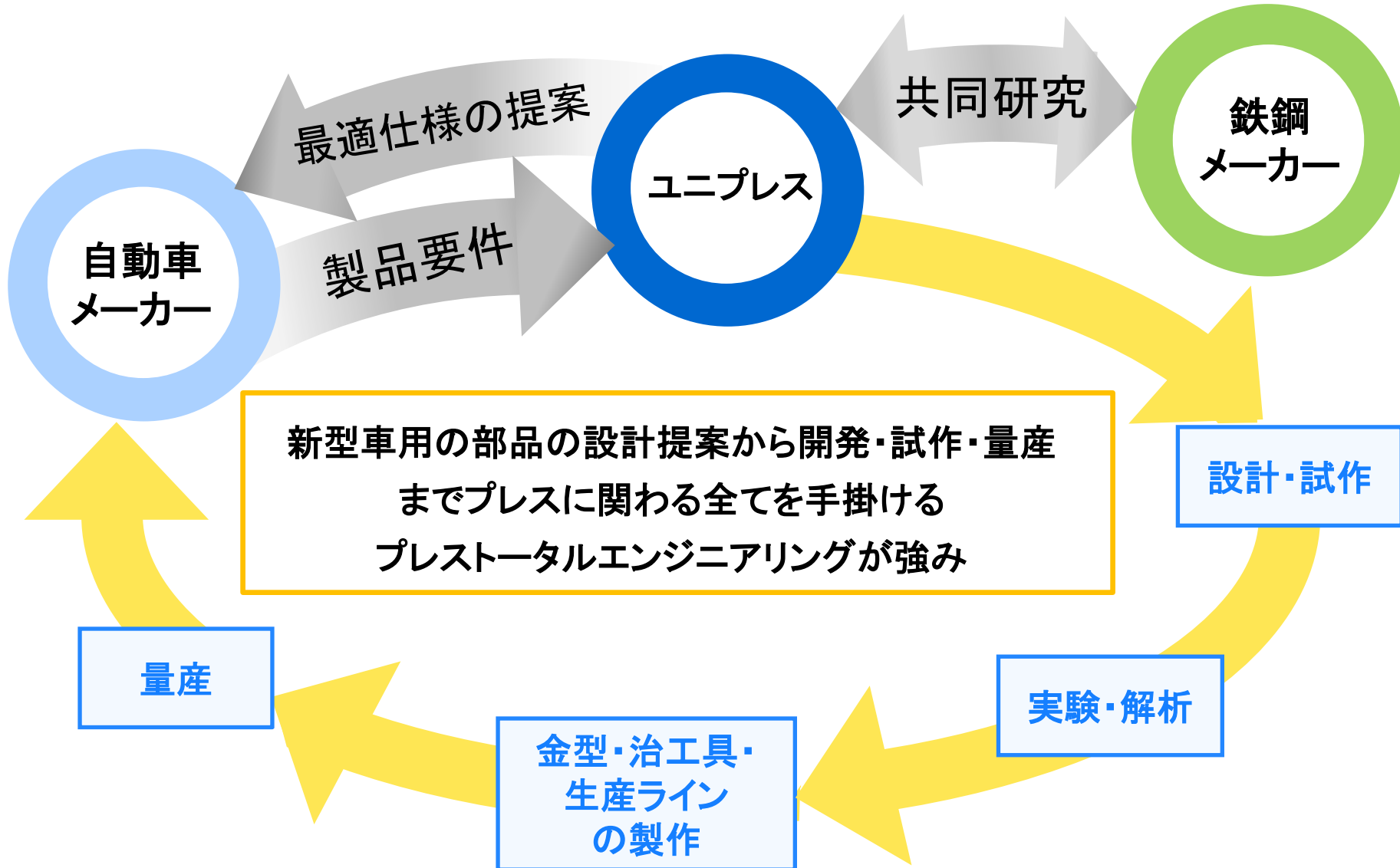
発泡樹脂のプレス成形による 世界最軽量

のフロアーアンダーカバーを実現

- 重量 2.8kg/台→1.0kg/台
- 軽量化 65%減

フロアーアンダーカバー





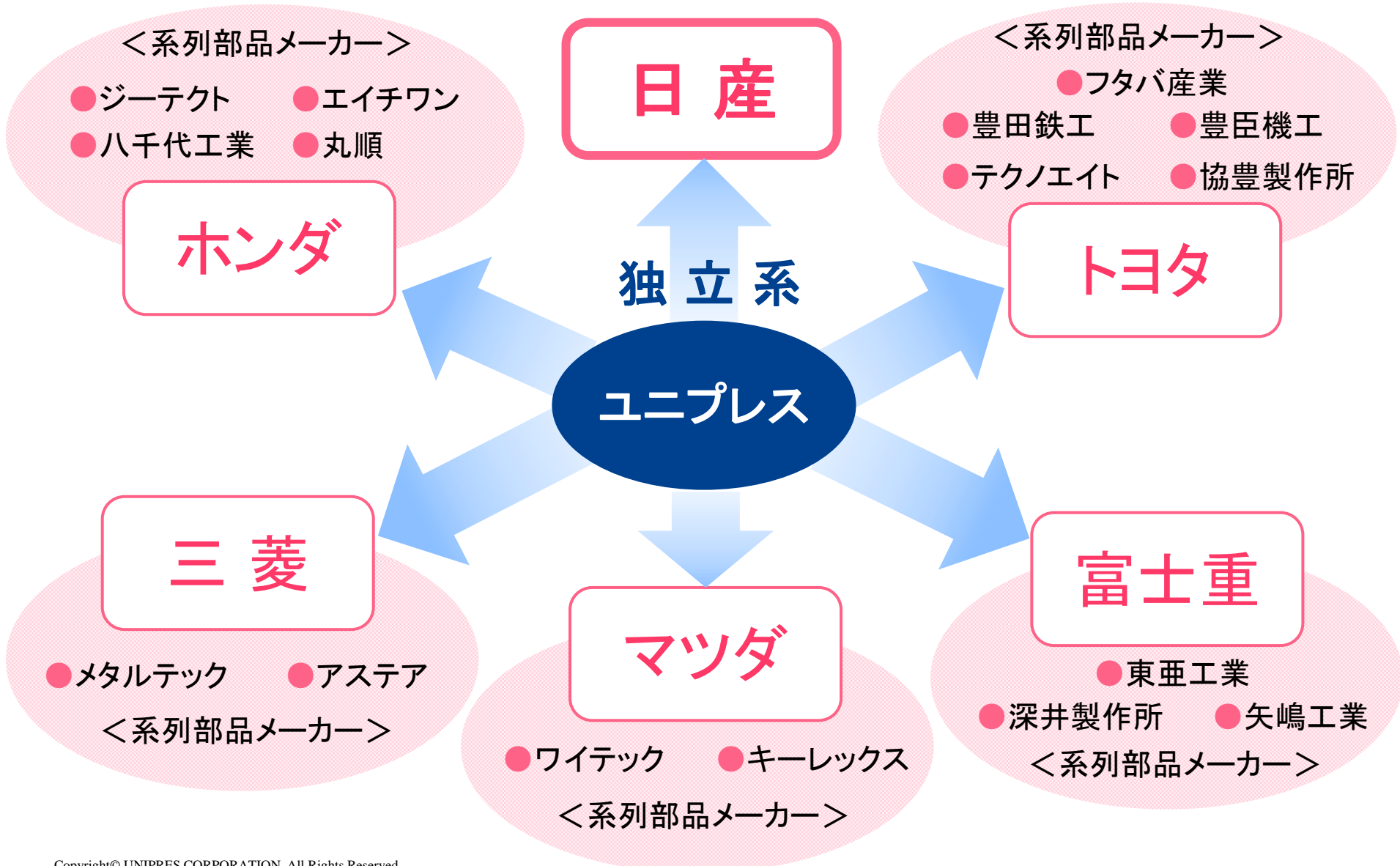


国内外の自動車メーカーへグローバルに供給

2) 拡販

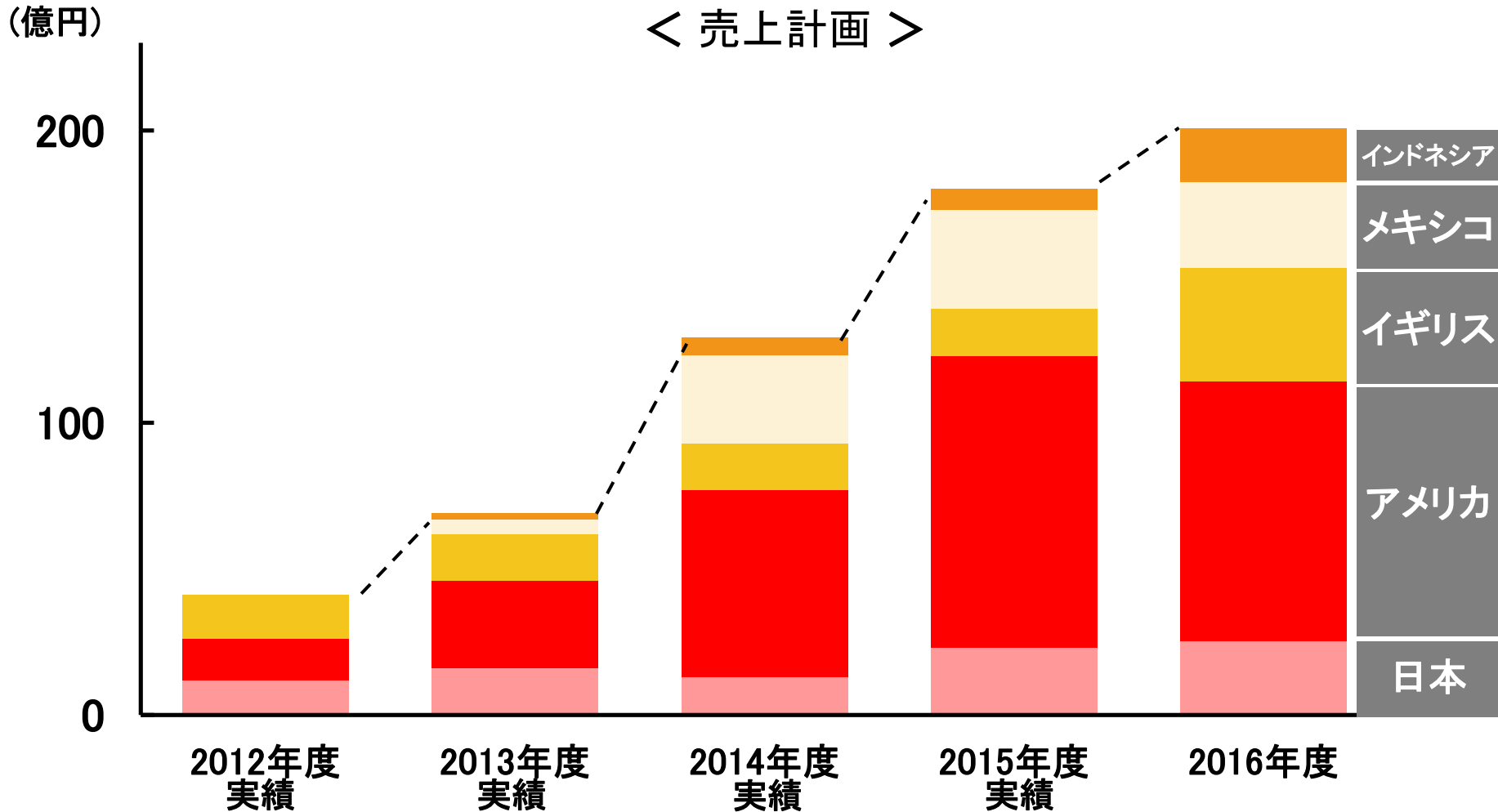


自動車メーカーと自動車部品メーカー





ホンダへのグローバル拡販状況



! Point

ホンダ向けの売上が5年で約5倍に拡大



いすゞへの拡販状況

いすゞのインド新工場(スリ・シティ工場団地)で
生産するLCV車の部品を受注

- ◆ 当社の海外拠点でいすゞから初受注
- ◆ ハイテン材加工技術を評価され、
ハイテン部品であるシルインナー部品
を受注
- ◆ 2018年初頭より納入開始予定



・ 今回の受注を機に、いすゞへのグローバルでの拡販につなげる



海外メーカーへの拡販の取り組み

一例：ルノーへの拡販



イギリス



カジャール

中国(東風ルノー)



カジャール

インド



ロジュー



ダスター

- 国内の自動車メーカーに加え、海外の自動車メーカーも受注活動を推進



米州・欧州・アジアの3極にネットワークを広げる

3) グローバル展開



ユニプレスの海外生産拠点

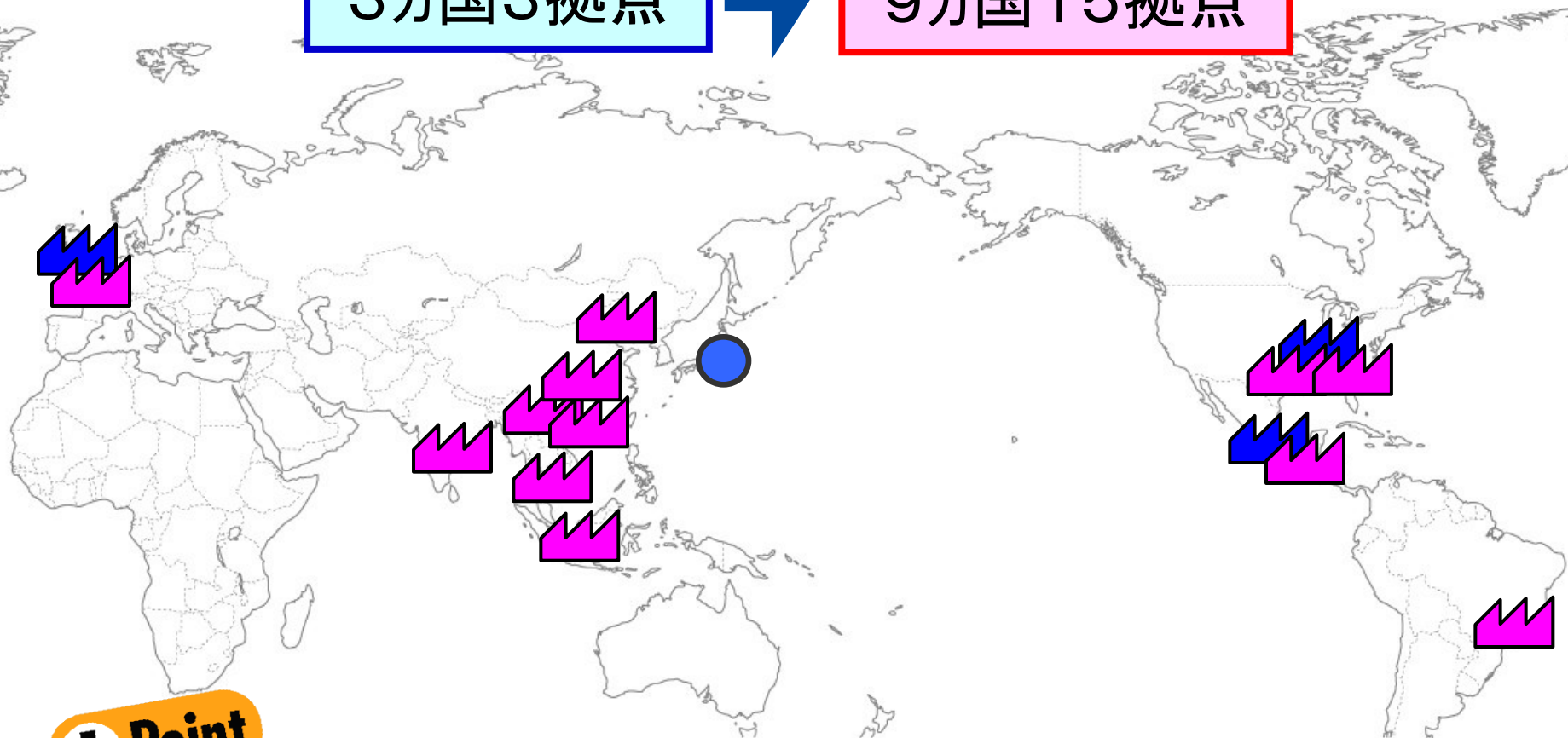
2002年

3カ国3拠点



現在

9カ国15拠点



! Point

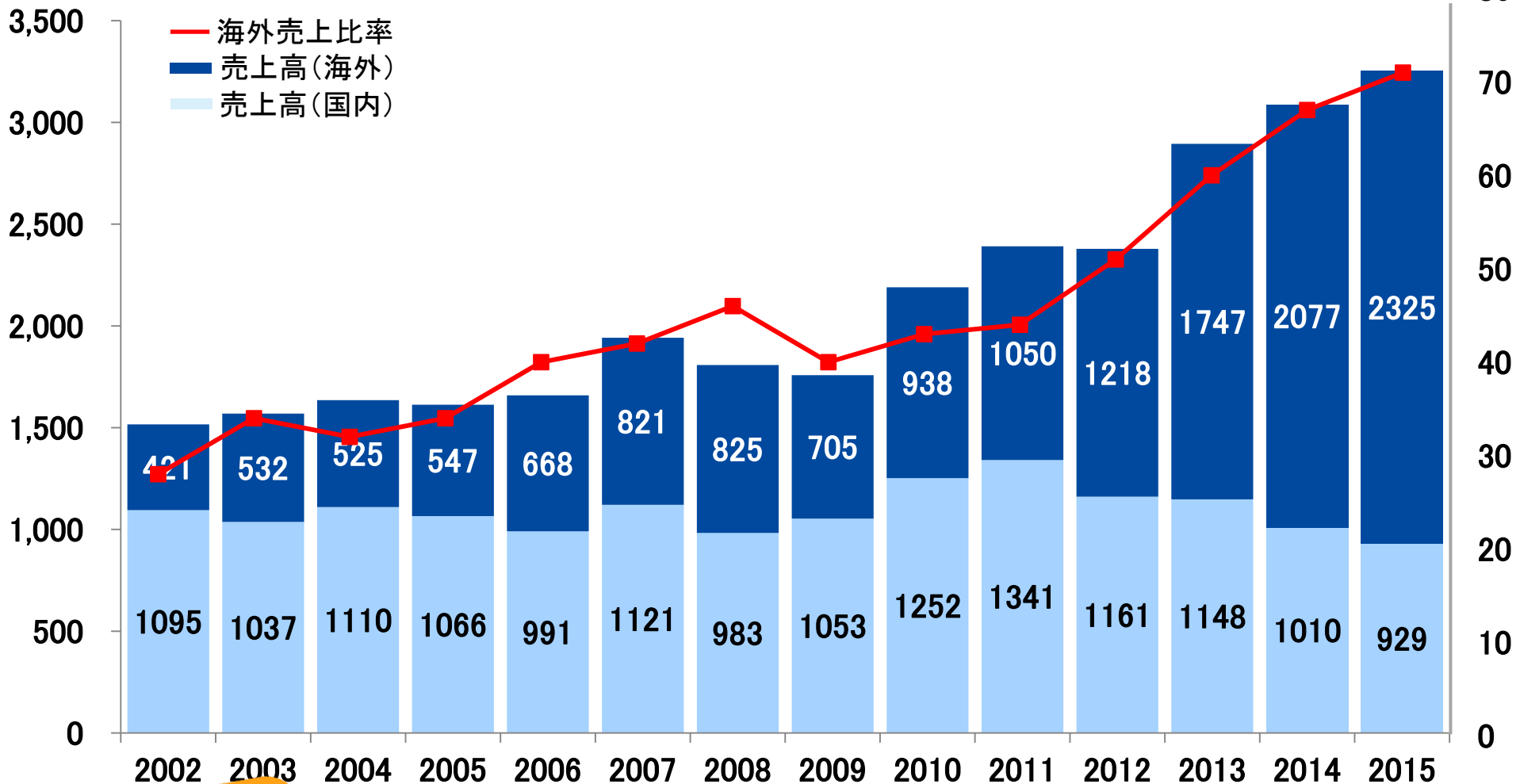
海外生産拠点数が5倍の15拠点到!



海外売上の推移

(億円)

(%)



! Point

2015年度の海外売上比率は約7割まで拡大



3. 中期経営戦略



経営理念

プレスを究めて、プレスを越える。

Perfecting Machine Press Technologies: Going a Step Beyond

<目指すべき企業の姿>

- 市場ニーズを先取りした「技術開発型企业」
- 競争力No.1を維持する「コスト開発型企业」
- 自動車産業構造変化に対応した「グローバル戦略型企业」



経営の重要な4つの課題と取り組み

■グローバルQCD

- ・UPS活動の水準向上
 - 15KPI ※Key Performance Indicator
- ・グローバル品質の水準向上
- ・新車立上げの完遂

■9か国15拠点

- ・生産基盤の強化

■新たな市場領域

- ・グローバル拡販(ホンダ・ルノー等)
- ・トランスミッション部品事業の強化・拡大

業界トップレベルの
競争力

グローバル展開と
生産基盤の強化

課題

製品・素材・工法
の革新

経営管理体制
の強化

■新製品・新技術の開発

- ・生産技術革新
- ・廉価車対応技術

■外部との共同研究の充実

- ・高炉メーカー、カーメーカー

■コーポレートガバナンスの強化

- ・社外取締役の導入
- ・監査等委員会設置会社への移行

■グローバル管理基盤の強化

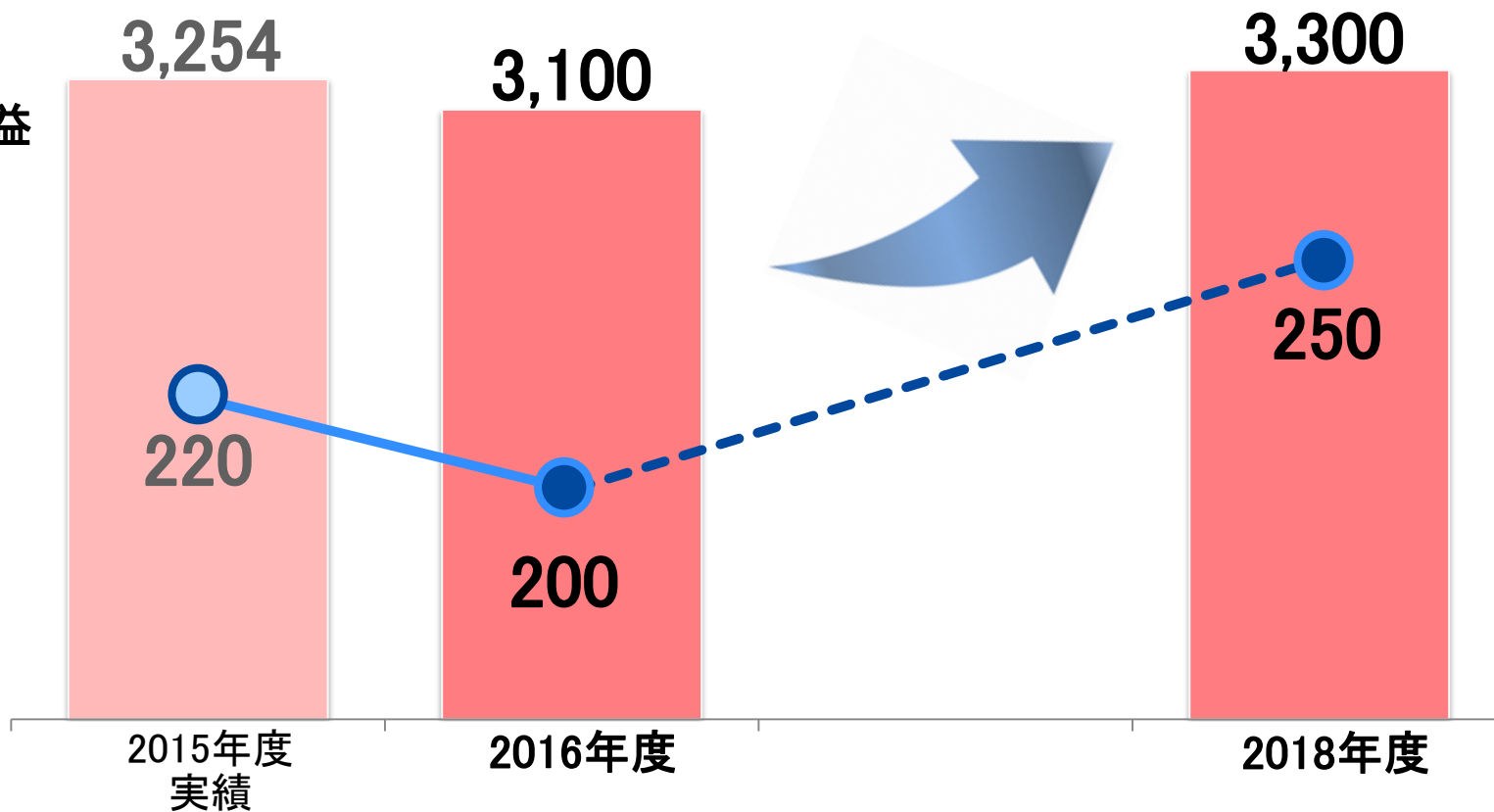
- ・日本のグローバル管理機能強化
- ・地域統括会社の機能強化



中期経営目標



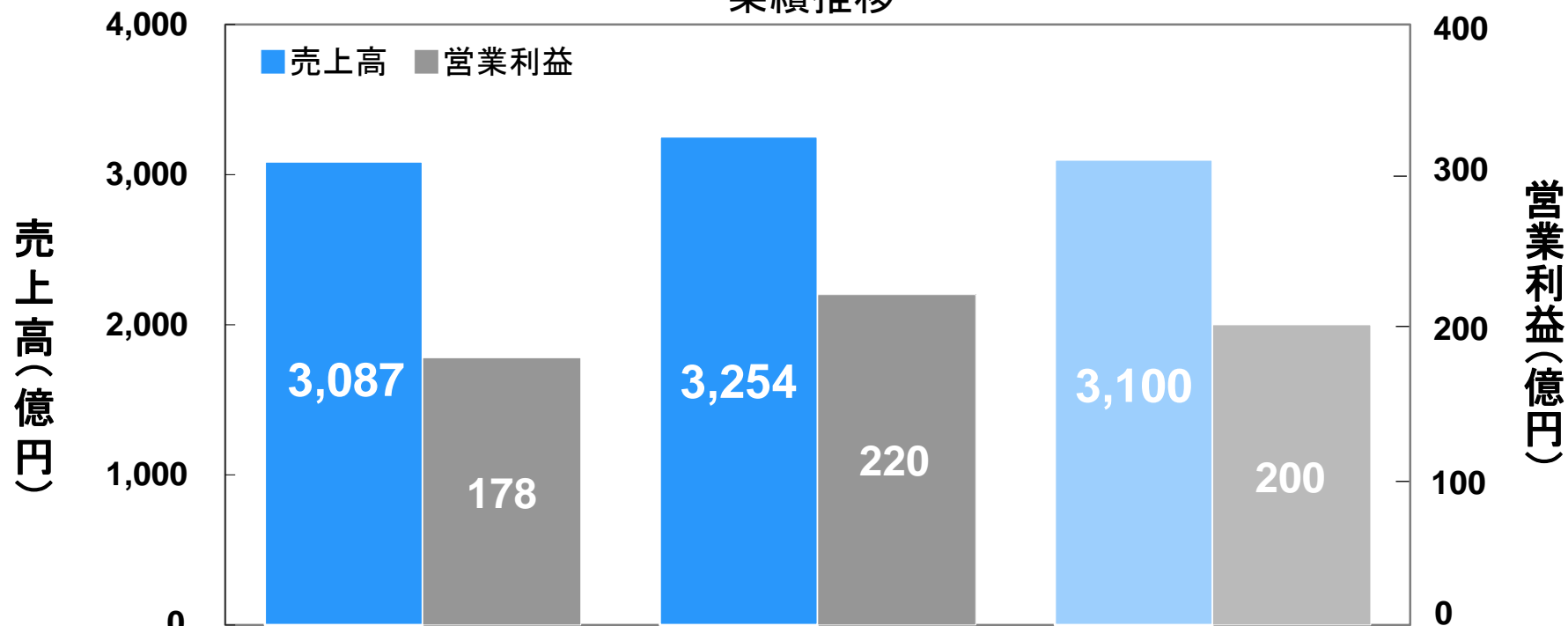
■ 売上高
● 営業利益
(単位: 億円)





2016年度連結業績計画

業績推移



	2014年度	2015年度(A)	2016年度 計画(B)	(B)-(A)
売上高	3,087	3,254	3,100	-154
営業利益	178	220	200	-20
経常利益	184	182	185	+3
親会社株主に帰属する当期純利益	72	98	100	+2

※ 2016年度 為替換算影響：売上高 -300億円、営業利益 -26億円

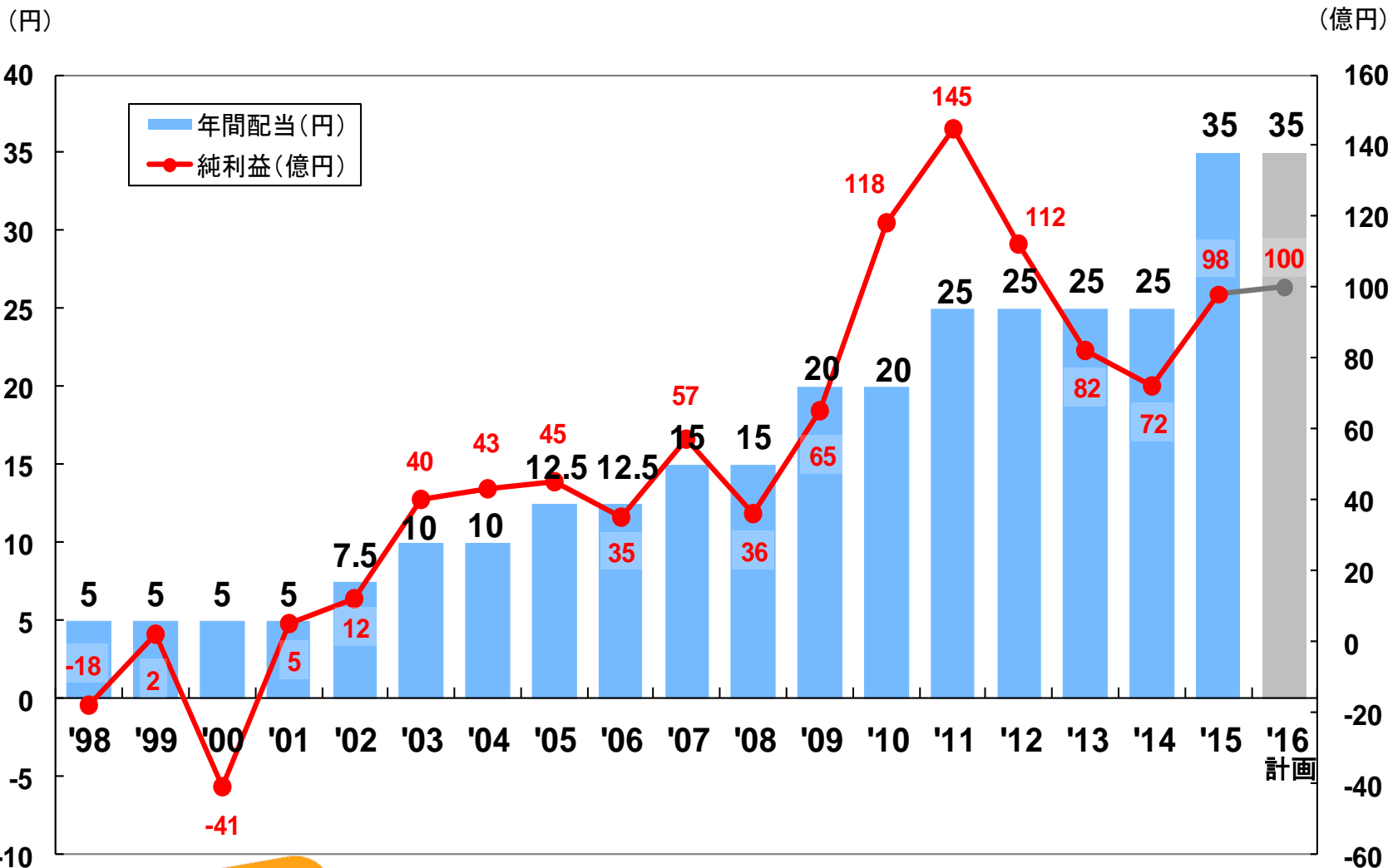


配当・株主優待制度を継続的に実施する

4. 株主還元



当期純利益・配当金推移



! Point

2016年度は35円を計画



ポイント制 株主優待サービス

- 株主様に中長期的に当社株式を保有いただくため、長期保有優遇の株主優待制度を継続実施

長期保有するほどポイントが増加！

株式数 \ 期間	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
100株以上	1,000	2,000	3,000
1,000株以上	2,000	3,000	4,000
3,000株以上	3,000	4,000	5,000

・3月31日現在の株主名簿に記載された株主の皆様が対象

! Point

保有株式数・期間に応じて、
年1回ポイントを贈呈



選べる！バラエティ豊かな優待商品

株主優待商品過去実施例

QUOカード

社会貢献型QUOカード



このクオカードの購入代金の一部は、東日本大震災被災地の子どもたちを笑顔にするための活動に使われます。

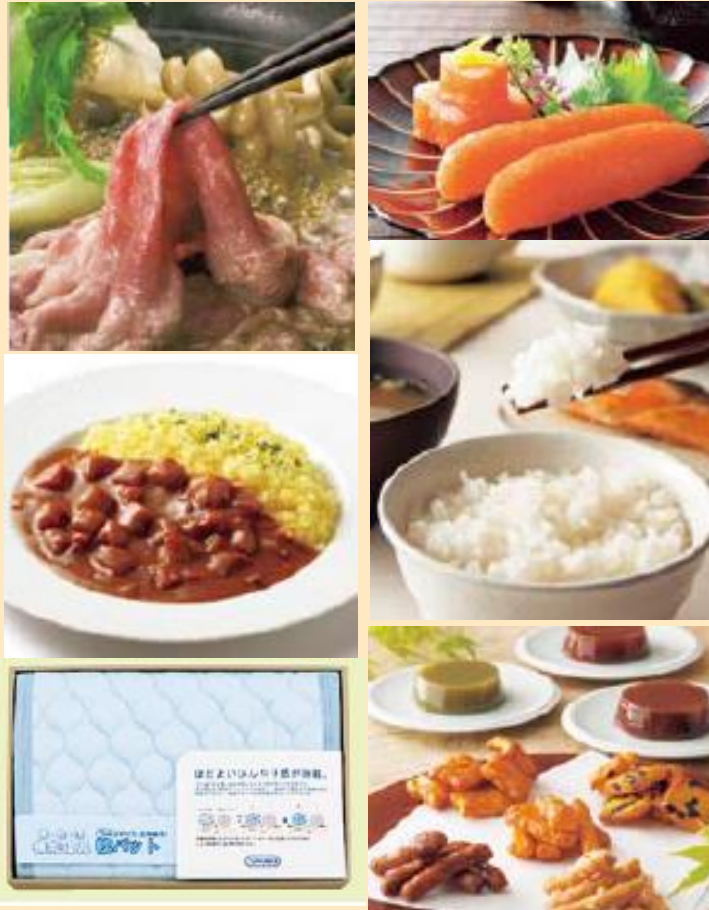
ユニプレスオリジナルグッズ

パワーチャージ ライト&FMラジオ手動式



! Point

食品・雑貨など数十点



環境・社会貢献活動団体への寄付



- ・more treesへ寄付
- ・交通遺児育成基金へ寄付

平成28年度
株主優待

のご案内



ポイントに応じて、オリジナルカタログ から好きな商品が選べる



定時株主総会：終了後には懇親会を開催



株主総会
日時：2016年6月22日（水）
場所：新横浜プリンスホテル



! Point



総会後は役員との株主懇親会を開催



株価の推移

UNIPRES





UNIPRES

より詳しい情報は、ユニプレス株式会社の
ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.unipres.co.jp>



会社概要

参考資料

会社名

ユニプレス株式会社

代表者名

吉澤 正信

設立

1945年3月1日
【1998年合併 山川工業(株)・大和工業(株)】

上場取引所

東証一部 【証券コード:5949】

事業内容

自動車部品の製造及び販売

資本金

98億7,297万1,450円 (2016年3月31日現在)

従業員数

連結9,350人 (2016年3月31日現在)

本社所在地

神奈川県横浜市港北区新横浜1-19-20

特徴

自動車用プレス部品の国内最大手





地球や社会と調和し、貢献すること。
それがユニプレスの使命です。



～地球のために～

クルマの軽量化による燃費向上を通じた
低炭素社会への貢献

～社会のために～

グローバルに広がる
社会貢献・地域社会との融合



～社員ののために～

ワークライフバランスを重視した
働きやすい職場づくり



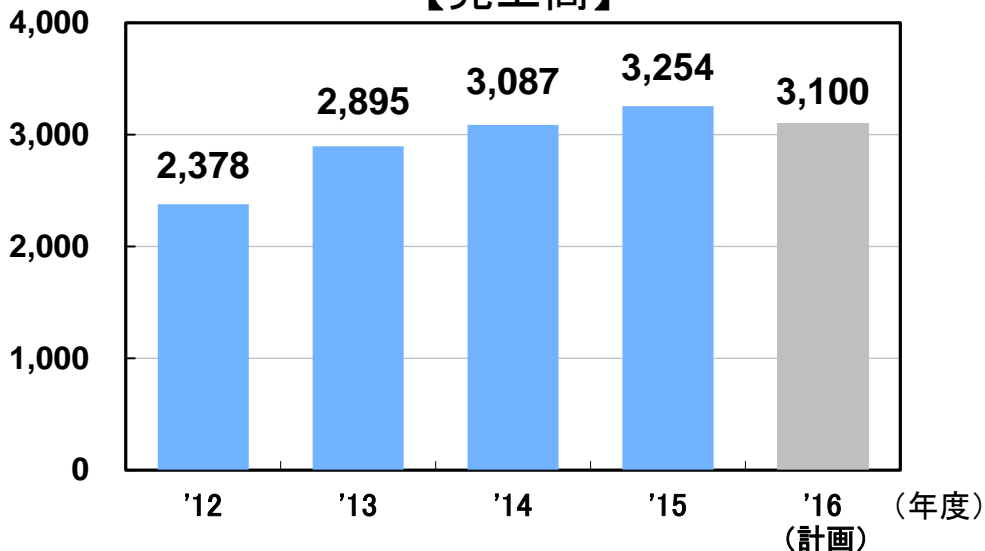


主要業績推移

参考資料

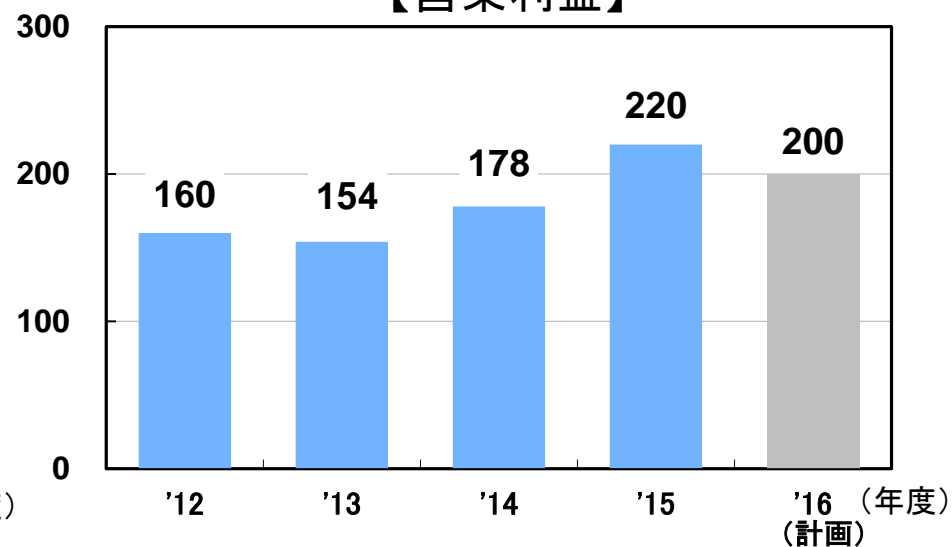
(億円)

【売上高】



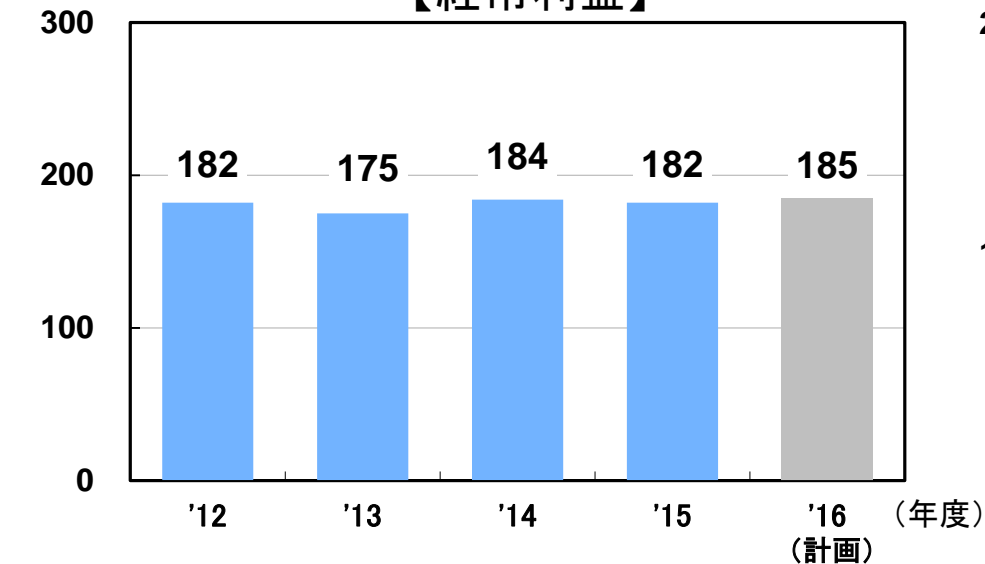
(億円)

【営業利益】



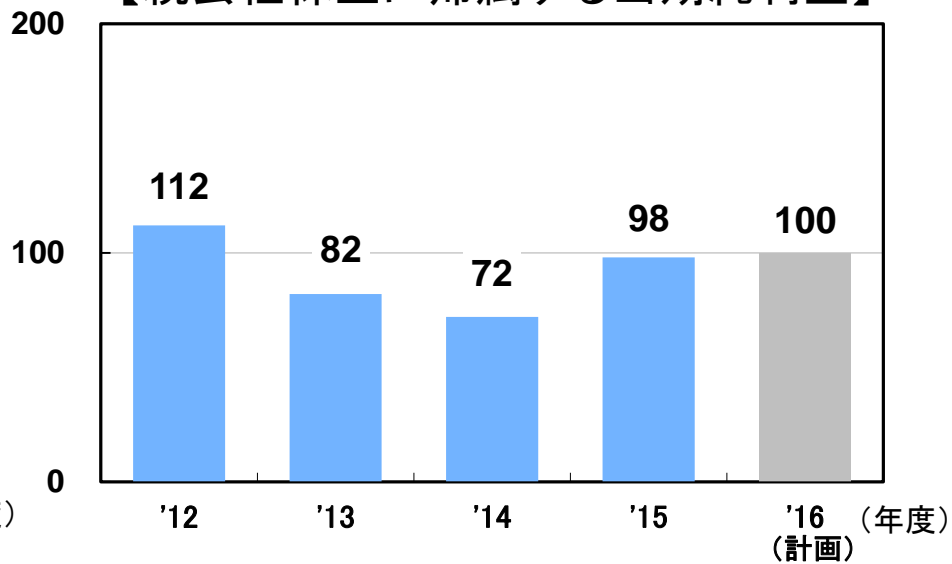
(億円)

【経常利益】



(億円)

【親会社株主に帰属する当期純利益】





UNIPRES

財務ハイライト

参考資料

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
売上高(百万円)	239,086	237,832	289,491	308,739	325,423
営業利益(百万円)	24,631	16,025	15,435	17,796	22,033
経常利益(百万円)	24,255	18,153	17,518	18,363	18,186
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	14,529	11,218	8,208	7,207	9,750
1株当たり当期純利益(円)	311.94	238.50	175.19	170.89	217.81
1株当たり配当金(円)	25.00	25.00	25.00	25.00	35.00
総資産(百万円)	155,312	167,805	210,955	238,356	233,274
純資産(百万円)	88,068	105,009	109,081	121,375	129,253
自己資本比率(%)	53.4	58.9	48.5	47.5	51.6
1株当たり純資産(円)	1,765.74	2,094.96	2,431.88	2,681.93	2,674.58
有利子負債残高(百万円)	13,437	19,876	34,496	42,777	30,333
営業活動による キャッシュフロー(百万円)	23,009	17,882	38,255	25,701	29,107
投資活動による キャッシュフロー(百万円)	△17,411	△23,772	△30,783	△25,911	△18,613
財務活動による キャッシュフロー(百万円)	△1,766	2,764	2,001	3,392	△6,449



UNIPRES

主な財務指標

参考資料

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
売上高営業利益率(%)	10.3	6.7	5.3	5.8	6.8
売上高経常利益率(%)	10.1	7.6	6.1	5.9	5.6
総資産経常利益率 (ROA)(%)	16.6	11.2	9.3	8.2	7.7
自己資本当期純利益率 (ROE)(%)	19.0	12.3	8.2	6.7	8.3
EBITDA(百万円)	39,704	32,308	34,756	37,989	36,975
売上高EBITDA率(%)	16.6	13.6	12.0	12.3	11.4
EV/EBITDA倍率(倍)	3.1	3.5	2.6	3.2	2.5
配当性向(%)	8.0	10.5	14.3	14.6	16.1
純資産配当率(%)	1.5	1.3	1.1	1.0	1.3
配当利回り(%)	1.0	1.2	1.3	1.0	1.8
PER(倍)	8.2	9.0	10.6	14.3	9.0
PBR(倍)	1.45	1.03	0.76	0.91	0.73
総資産回転率(回)	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4



資料取り扱い上の注意

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で当社が知りうる情報をもとに作成されたものです。
あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績はかかる予想と大きく異なる結果となることがあります。
それらのリスクや不確定要素のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- 主要市場(日本、米州、欧州、アジア等)の経済状況、消費動向、及び自動車業界得意先メーカー各社の業況・戦略等に伴う製品需給の急激な変動
- 原油価格や鋼材価格の高騰に伴う当社製品製造コストへの影響
- 為替相場の大幅な変動
- 金融・資本市場における金利等の変動 など